

ハーゲン・ クアルテット

Hagen Quartett

ライナー・シュミット
(第2ヴァイオリン)

世界最高峰の弦楽四重奏団
「ハーゲン・クアルテット」が
満を持して音楽堂に登場！

ルーカス・ハーゲン
(第1ヴァイオリン)

クレメンス・ハーゲン
(チェロ)

Dmitry Dmitrievich Shostakovich
String Quartet No.3 in F major, op.73

ショスタコーヴィチ
弦楽四重奏曲 第3番 へ長調
op.73

Ludwig van Beethoven
String Quartet No.16 in F major, op.135

ベートーヴェン
弦楽四重奏曲 第16番 へ長調
op.135

Franz Schubert
String Quartet No.14 in D minor, D810
"Death and the Maiden"

シューベルト
弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調
D810
「死と乙女」

ヴェロニカ・ハーゲン
(ヴィオラ)



2017年 7月2日(日) 14:00開演
(13:30開場)
響きて選べば
木のホール 神奈川県立音楽堂

全席指定 一般 ¥6,000 (65歳以上) シルバー ¥5,500 完売 (24歳以下) 学生 ¥3,000

KAme
先行発売
(webのみ) 2/4 ±

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> [Pコード316-652]
イープラス <http://eplus.jp>

チケット
かながわ

音楽堂窓口(13:00~17:00月曜休) 神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場窓口(10:00~18:00) 一般発売 2/11 ± (24時間)
0570-015-415 (10:00~18:00) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

託児サービス 要予約・定員制 お子様一人につき 2,000円 イベント託児マザーズ 0120-788-222(土日祝除く 10:00~12:00/13:00~17:00)

主催: 神奈川県立音楽堂
(指定管理者: 公益財団法人神奈川芸術文化財団)

現代のカルテット界を代表するハーゲン・カルテット。デビューは1981年なので、すでに35年の歴史を持つ今や老舗といってよい団体である。音楽一家であるハーゲン家の4人の兄弟姉妹によって結成され、その後第2ヴァイオリンの交替はあったものの、設立当時の一体感は35年経た今でも全く変わっていない。気心を知り尽くしているだけにお互いの息遣いに敏感に反応し合いながら血の通った音楽を紡いでいくのが彼らの身上であり、ヨーロッパの伝統様式をきちんと踏まえつつも、それに掟われすぎることなく、自在な発想とフレッシュな感性に発する広がりある表現を追求し続けてきた。とりわけ近年の彼らの演奏には、30年以上の活動の積み重ねの中で自ずと醸成されてきた円熟味が感じられる。

今回取り上げられる曲はこれまで彼らが十八番としてきた作品ばかりで、それだけにいっそう最近のハーゲン・カルテットの境地が浮かび上がってくることだろう。ショスタコーヴィチの第3番に秘められたシリアスな悲劇的意味合い、ベートーヴェンの第16番の達観した境地、シューベルトの「死と乙女」の暗い激情—今のハーゲン・カルテットがそうした作品の特質にどうアプローチするのか、おおいに楽しみだ。

そして何より神奈川県立音楽堂の持つ温もりあるホール音響は、親密な4人が音楽的感興を交感し合いながら演奏を作り上げていくこの団体ならではの美質を生き生きと伝えてくれるに違いない。

寺西基之(音楽評論家)

ライナー・シュミット
1680年製ヴァイオリン「パガニーニ」

ルーカス・ハーゲン
1727年製ヴァイオリン
「パガニーニ」

ヴェロニカ・ハーゲン
1731年製ヴィオラ「パガニーニ」

クレメンス・ハーゲン
1736年製チェロ
「パガニーニ」

ハーゲン・カルテット Hagen Quartett

1981年に結成されたハーゲン・カルテットは、同年にロッケンハウス音楽祭で“審査員賞”と“聴衆賞”と呼ばれる大賞を受賞。翌年にはポーツマス弦楽四重奏コンクールで優勝し、続けてウィグモア・ホールにおけるロンドン・デビューを果たしている。また1983年にフランスのエヴィアン国際コンクール、ポルドー音楽祭、そしてカナダのバンフ・コンクールで立て続けに優勝し、1984年にはザルツブルク音楽祭にデビュー、大成功を収めた。そして翌年にはドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、その後20年で約45枚のCDをリリースした。ハーゲン・カルテットにとって、ニコラウス・アーノンクール、ジョルジュ・クルターク、マウリッツィオ・ポリニ、内田光子、ザビーネ・マイヤー、クリスチャン・ツィメルマン、ハインリッヒ・シフ、イェルク・ヴィトマンらとの出会いが、音楽的な視野を広げ、大きな財産となっている。ザルツブルク・モーツァルテウム、バーゼルの音楽大学のほか、国際的なマスタークラスでも教師・指導者を務めるメンバーたちは、自身の経験を踏まえ、後進の指導にもあたっている。

2013年の半ばより、日本音楽財団より貸与されたストラディヴァリウス「パガニーニ・カルテット」を使用している。

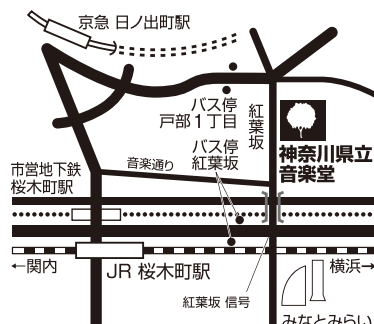
音楽堂 ヴィルトゥオーゾ・シリーズ 関連講座

本公演をより楽しむための事前レクチャーを開催します。

会場：神奈川県立図書館 4階セミナールーム(予定) 日時：詳細は、決定次第ホームページにて発表します。

最新情報はこちら！

Twitter : @Kana_Ongakudo Facebook : kanagawaongakudo



木のホール 神奈川県立音楽堂

〒220-0044
横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
TEL.045-263-2567

<http://www.kanagawa-ongakudo.com/>

- JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分

神奈川県立音楽堂は、指定管理者である公益財団法人神奈川芸術文化財団が管理・運営を行っています。

バス情報

「横浜駅東口バスターミナル」乗車

8, 26, 58, 89, 105,
110, 横43系統
「紅葉坂」下車 徒歩7分

103系統「戸部1丁目」下車
徒歩5分

紅葉坂の上に
停車します

紅葉坂

音楽堂

戸部1丁目